

レポート

ウクライナ侵攻におけるロシアの対アラブ情報戦¹

室達康宏

【目次】

1. 序文
2. 女性モデルの写真を利用した偽アカウントによる情報発信
3. チェチェン共和国ラズマン・カディロフ首長名のツイッター
 - (1) 概要
 - (2) 特徴的な発信内容
 - (3) イスラームの宗教的意義を強調する発信
4. チェチェン共和国ラズマン・カディロフ首長名のテレグラム
 - (1) 概要
 - (2) イスラームの宗教的意義を強調する発信
5. 最後に

1. 序文

政府は「国家安全保障戦略」を含む安全保障関連3文書を2022年末までに改訂するとの方針である²。岸田首相は、5月26日の衆院予算委員会で、ロシアによるウクライナ侵攻を踏まえ、外交・安全保障政策の長期指針である「国家安全保障戦略」の改訂では、偽情報やフェイクニュースへの対応策を検討すると表明し、「情報戦への対応が重要だ。しっかりと意識し検討しなければならない」と述べた³。ロシアなどを念頭に情報戦対策を考えた場合、ウクライナ侵攻におけるロシアの情報活動がどのようなものか把握した上で、どのように情報戦をマネージするのが有効かを考える必要がある。「ロシア対西側」の直接の対立の構図から外にいる国々へのウクライナ危機の影響やそれらの国々の世論や動向が注目される中、本稿では、ロシアと一定の友好関係を有するアラブ諸国などを対象にロシアの情報戦の一端を担っているアラビア語による情報発信をレポートする。

2. 女性モデルの写真を利用した偽アカウントによる情報発信

アルジャジーラのグループ会社の調査報道によるとアラブ人を対象にロシアによるウクライナ侵攻への支持獲得を目的としたロシア人女性モデルの写真を利用した偽ツイッタ

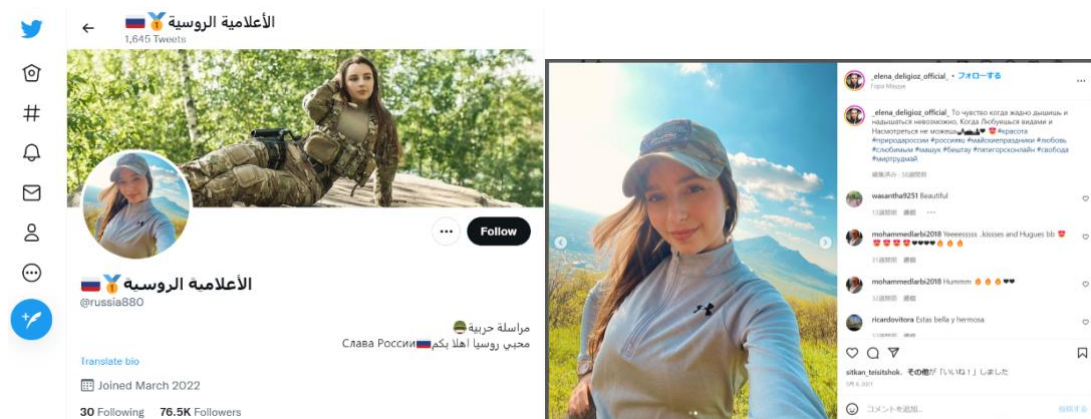
¹ 本稿は著者が海外情勢報告のため運営するホームページ ([HP](#)) 上の 2022 年 6 月 15 日付「調査レポート (202203)」と同内容である。本レポートへのコメントなどは[こちら](#)から。なお、本レポートで参照するインターネットやアカウント情報は、2022 年 6 月 15 日時点で確認済みである。

² [国家安全保障戦略など改定へ 首相“自民の提言を踏まえ議論” | NHK | 自衛隊](#)

³ [首相、安保戦略に情報戦対策 ウクライナ侵攻受け、衆院予算委 \(msn.com\)](#)

一・アカウントの活動が確認されている⁴。同調査報道によると、そうしたアカウントはロシア軍などの広報をアラビア語で発信し、自動プログラム「ボット」が発信を拡散させている。プロフィールでは「女性戦場特派員」などと名乗り戦場からの情報発信との体裁を装っているが、こうした偽アカウントの特徴として（１）ウクライナ侵攻後に作られたアカウント、もしくは侵攻前に作られたアカウントであればウクライナ侵攻前には発信実績がない。（２）プロフィール写真が似通っており人目を惹くコーカサス出身女性の軍服姿の写真を掲載。（３）短期間で多くのフォロワーを獲得。（４）アカウント誕生直後からの不自然で組織的な拡散やリアクション数。（５）ロシア側に偏った内容、不正確・誇張したウクライナ軍の被害情報の発信、と指摘されている。

上記の例として、２０２２年３月に登場した「ロシア人ジャーナリスト」を名乗るアカウント（@russia880）は、同アカウントの最初の投稿に対して数百のリアクションがあることから組織的な拡散の意図があり、また、１か月で４万５千人のフォロワー数を獲得したと報じている。



（ロシア人ジャーナリスト名アカウント）（エレナ・デリジオズのインスタ投稿写真）

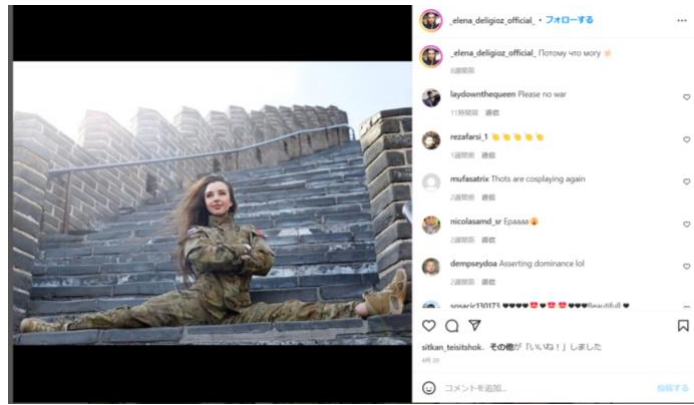
上記報道では同アカウントのプロフィール写真はエレナ・デリジオズ（Elena Deligioz）が過去にInstagramに投稿した写真と指摘している。エレナ・デリジオズは、ミリタリーコスプレイヤーとして知られており、Instagramのフォロワー数は、１７万８千人に達している⁵。そこで筆者が彼女のInstagramを参照すると「ロシア人ジャーナリスト」名アカウントのプロフィール写真はエレナ・デリジオズであるに加え、アラビア語でのロシア軍広報のツイート投稿の合間に頻繁に「今日の私の写真などと称して」投稿されている写真は、彼女のInstagramの投稿ページに掲載されている写真と同じであった。

⁴ [aljazeera.net](https://www.aljazeera.net)） في تحقيق للجزيرة.. حسابات وهمية لعارضات شيشانيات وروسيات لاستمالة العرب في الحرب على أوكرانيا | أخبار سياسة | الجزيرة نت

⁵ [Е л е н а \(@elena_deligioz_official_\) • Instagram 写真と動画](https://www.instagram.com/elena_deligioz_official/)



(「今日の私」のツイート)



(エレナ・デリジオズのインスタ投稿写真)

また、上記報道では、「女性戦場特派員」を名乗る「マリア・クリンコフ (Maria Krinkov)」名のアカウント (@Mariakrinkov31) は、アンナ・クラムツォワ (Anna Khramtsova) の写真をプロフィール写真に掲載していると指摘している。アンナ・クラムツォワは、かつてロシア連邦国家親衛隊に所属しており、2019年に同隊から1,000名が参加したミス・コンテストで優勝している⁶。しかし、その後クラムツォワが職場内で撮影した動画を無断でインスタグラムに投稿したとして国家親衛隊から解雇されたとの報道が2020年12月になされている⁷。彼女のインスタグラムのアカウントは解雇後削除された模様だが過去に英「the Sun」紙ウェブ版で報道されている国家親衛隊時代のクラムツォワの制服姿の写真と、同じく国家親衛隊の制服姿の「マリア・クリンコフ」名アカウントのプロフィール写真を比較すると確かに同一人物と思われる。



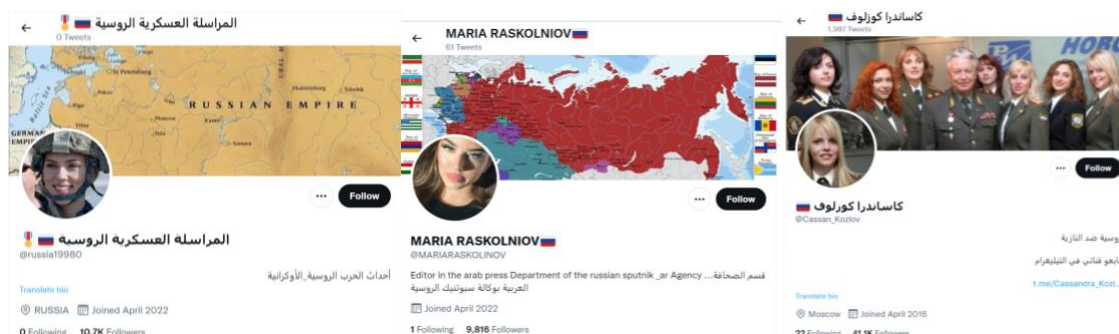
(マリア・クリンコフ名アカウント) (国家親衛隊時代のアンナ・クラムツォワ)

上記の2アカウントでは、主にプーチン大統領やラブロフ外相の発言、ロシア外務省やロシア軍・国防省の発表などをアラビア語で発信している。「ロシア人ジャーナリスト」名アカウントのフォロワー数は7万6千人、「マリア・クリンコフ」名のアカウントのフォロワー数は1万1千人である。この他にも上記で指摘される5つの特徴に該当し、若い女性の写

⁶ Vladimir Putin's top guard wins Russian army beauty contest | Photos | news.com.au — Australia's leading news site

⁷ Blonde bombshell axed from Vladimir Putin's national guard because female troops were 'jealous of her bikini snaps' | The Sun

真をプロフィールに設定し、アラビア語でロシア側の情報を発信しているアカウントは「ロシア人戦場特派員」名アカウント（@russia19980、フォロワー数1万人）、「マリア・ラスコルニコフ（MARIA RASKOLNIIOV）」（@MARIARASKOLINOV、フォロワー数9千）、「カッサン・コズロフ（Cassan Kozlov）」（@Cassan_Kozlov、フォロワー数4万1千）などが確認できる。（アカウントの存在及びフォロワー数はいずれも2022年6月15日時点）



（ロシア人戦場特派員名アカウント）（ラスコルニコフ名アカウント）（コズロフ名アカウント）

これらのアカウントの中では、ミリタリーコスプレイヤーのエレナ・デリジオズの写真を利用している既出の「ロシア人ジャーナリスト」名アカウントがフォロワー数としては一番成功している。ジャーナリストと名乗るだけの匿名アカウントにもかかわらずアカウント当人の写真であると称して実在する有名人の華やかな写真を度々投稿し、宣伝に利用していることから本人による発信とは考えにくい。

3. チェチェン共和国ラズマン・カディロフ首長名のツイッター

（1）概要

チェチェン共和国ラズマン・カディロフ首長名のアカウント（@RamzanKiadyrov）は、同首長の公式アラビア語アカウントを名乗っている。同アカウントの作成時期は2022年2月、フォロワー数71,740人（2022年6月15日時点）と表示されている。403,190人のフォロワーを有するロシア語のラムザン・カディロフ首長のアカウント（@RKadyrov）とは別アカウントである。スクロールして現在表示される限り最初の投稿は、ロシアによるウクライナ侵攻開始後の2022年3月6日である。最初の投稿から4月中旬頃までの投稿にはアラビア語とロシア語が併記し投稿されているが、4月26日を最後にアラビア語のみによる投稿になっている。同アカウントのフォロー先はゼロであり、投稿中にリツイートは一件もなく、また、例えば、女性の写真を利用した上記のアカウントとは異なり、ロシア外務省、ロシア国防省やロシア・トゥデイなどの他ソースが報じる内容をそのまま転載するのではなく、戦況の進捗に合わせ、カディロフ首長が把握していること見聞きしていることと思うところを本人が自ら発信する体裁をとっている。動画も頻繁に投稿され、その中には質の高いプロモーション・ビデオ、カディロフ首長が登場する動画、アラビア語の音楽がBGMに流れアラビア語の字幕が挿入されているなどの手の込んだ動画も一部含まれる。イスラーム教と関連させる内容の投稿も散見され、全世界のイスラーム教徒へ呼びかける投稿も含まれているに加え、イスラーム聖戦士を意味する

「ムジャーヒディーン」や宗教上戦うことがイスラーム教徒の義務となる聖戦を意味する「ジハード」などのイスラーム世界では特徴的な用語がロシアの軍事作戦と結びつける形で頻繁に利用されている。

（２）特徴的な発信内容

同アカウントによる全ツイートをレビューしたところ、いずれも情報戦としてロシアが展開したい内容を示しているが、その中でも特徴的な内容だけ抽出した。

○「親愛なる友よ。現在、真実と宗教の民、崇高な家族の価値観対悪魔の追従者の戦いが繰り広げられている。多くの国々と人々が世界的な悪に対して戦うロシア連邦の立場を支持していることを嬉しく思う。」 [投稿動画](#)（６月９日）

○「米と西側が全ての経済制裁を解除し、我々に謝罪するまでこの戦争を継続すべきだ。我々は正義のために、人々の幸せのために戦っている。戦闘は楽しい。我々は戦闘を楽しんでいる。プーチン大統領が発言したとおり、我々は死ぬときは英雄として死ぬが、彼らは偽善者として死ぬ。」（６月７日）

○「ナチスは、砲撃後に米のM777榴弾砲を移動させれば、我々のドローン攻撃を回避できると素直に信じていたようだ。ナチスどもよ、M777榴弾砲と弾薬は鉄くずになった。鉄くずを米に返品すれば将来何かの役に立つかもね。」 [投稿動画](#)（６月６日）

○「彼らは経済制裁を我々（ロシア）に課す勇氣があると主張する。次の日その影響が明らかになった途端、生活苦や経済悪化を我々（ロシア）に責任転嫁する。」（６月５日）

○「バイデンよ。あなたがウクライナのナチスに新たな軍事支援をすると聞いた。少し待っている。我々の部隊がそれらの支援品を押収したらすぐに写真を送るから。」（６月２日）

○「プーチン大統領：ロシアが存在しない世界など必要ない。」 [投稿動画](#)（５月２９日）
（筆者注：アサド政権を支持するシリア人歌手リバル・アル＝ハディ⁸が歌うアラビア語の歌「ロシアに栄光あれ」がBGMに流れる中、冒頭アラビア語の字幕付きのプーチン大統領の発言の後にロシア軍の戦闘の様子の動画。大統領の発言の字幕は「もし誰かがロシアを破壊する計画を企てたとする。それは人道上の災難となるだろう。いかなる場合であれ、私はロシア国民として問う。ロシアが存在しない世界など必要ない。」なお、同動画はチャンネル名「RSUA」でユーチューブに投稿されている。 [\(105\) RSUA - YouTube](#)）

○「米国は、ウクライナのナチス過激派を支援し、奨励することをやめるべきだ。なぜなら、

⁸ リバル・アル＝ハディはアサド政権を支持し、戦意を高揚する歌を複数発表している。ロシアがシリアに軍事介入した2015年には「ロシア軍・シリア軍」との表題の歌を発表している。 ["اهف عاشت روسيا" قناة سورية رسمية تعرض أغنية تمجّد.. \(enabbaladi.net\)](#)

それは米社会の文化になり、米国民に悪影響を与える。ウクライナで無辜の市民を殺害するナチスにバイデンが武器を与えることは米国内の過激派による犯罪を誘発している。」（5月25日）

○「だから警告したでしょ。」 [投稿動画](#)（5月22日）

（筆者注：ウクライナ兵とみられる兵士が投降し、移送車両をカディロフ首長が笑いながら運転する動画）

○「ホワイトハウスの医師はバイデンを急いで救出し、彼の安眠のために薬を投与すべき。バイデンが過去3か月にわたってナチスの過激派に供与した軍事的支援は戦況を一ミリも変えなかった。我々の部隊は支援品の多くを獲得した。漁師プーチンは、釣り上げた大きな魚を出迎える賑やかなレセプションの準備中だ。」（5月21日）

○「ゼレンスキーよ、強くなれ。マリウポリ陥落の事実を受け入れられず、このようなこと（紛糾する議場でマシンガンで乱射）に急いではいけません。我々の戦いはまだ始まったばかりだ。我々が西側の武器をがっばり手に入れるためにはあなたの存在がまだまだ必要だ。西側に対する幻想のマーケティングと販売に長けているため、我々はあなたを泳がせており、あなたの住居は空爆してない。プーチン大統領が言ったように、あなたは我々にとって西側を欺くための貴重な宝石だ。」 [投稿動画](#)（5月21日）

（筆者注：紛糾する議場を前にしてゼレンスキー大統領が突然側近からマシンガン二丁を受け取り、議場に向けて乱射し全員殺害する動画）

○「アゾフスタリ製鉄所で負傷した多くの重要な魚は、立てこもったまま死ぬことよりもプーチン漁師の網に入る方を望んだ。それらの魚は長い間、バイデンによる救出を待っていたが、バイデンは空気と握手する素振りを見せるほどの病気を患っていることを彼らは知らなかったのだろう。それらの魚は、バイデンと彼の甘やかされた子供がNATOと共に助けに来るのを待つのにうんざりし、プーチン大統領の慈悲を求めた。」（5月17日）

○「西側のウクライナ支援物資で少し遊ぼう。」 [投稿動画](#)（5月15日）

（筆者注：ウクライナ国旗を掲げた貧相な三輪駆動の荷台に兵士が乗車し、荷台の兵士は立ったまま移動する様子。）

○「バイデンよ、我々がザルヤ（Zarya）工場で何を見つけたか見よ。あなたの兵士の戦闘能力とレベルがとても低く、体調も悪いことを目にするのはほんとに悲しい。あなたの兵士は栄養不足のようだ！バイデンよ、でも私はあなたを責めない。あなたはウクライナへの支援供与に忙殺され、現場の兵士のことを忘れた。物忘れが激しいからね。」（5月15日）
写真投稿（筆者注：個人情報を確認できる米国のパスポートカードの写真）

○「NATOの体系的な挑発とロシア国境に近づこうとする拡張主義は、ロシアに対する今回の戦争には長年の計画と意図が存在していたことを裏付けている。NATOの挑発と脅

威に対しては、真剣で強力な対応が必要だ。ウクライナのネオナチへの我々の対応を見れば分かるように今回の我々の対応はやわなものではない。我々の対応は出来事の規模と脅威に比例したものになる。」（5月13日）

○「米国と西側が誇らしげにウクライナ軍に供与する支援品は最終的には我々の利益になる。バイデンがウクライナ軍を支援する確固たる姿勢を示してくれたことに感謝するよ。そのおかげで、我々の戦闘員に追加の食料と武器が供給されている。民族主義者のナチスは我々の脅威に直面するやいなや全てを放り出して逃亡した。」[投稿動画](#)（5月9日）

（筆者注：残された武器や食料の前でそれらを漁り談笑する内容。）

○「我々はアゾフスタリ製鉄所から逃げようとしている西側の大きな魚を捕まえ、それをイー・ド・アル＝フィトル（ラマダーン明けの祝祭）の贈り物として偉大な漁師プーチンに送った。まだ、たくさんの西側の魚が泳いでいる。それらの中には非常に重要な「サメ」級の大物が4匹いる。我々はすぐに全てを釣り上げる。」（5月4日）

（3）イスラームの宗教的意義を強調した発信

アラビア語のツイートの中でもイスラーム教徒の心情に訴えかけ、支持獲得を目指したメッセージ発信を強く意識している内容は以下のとおり。

○「今回、アゾフスタリ製鉄所からの客人には真摯に対応する。客人を尊重し敬うことは、イスラーム教の教えに基づく我々の義務だ。」（5月23日）

○「アッラーの使徒は言った。『強い信者の方が優れており、アッラーは弱い信者よりも強い信者を愛しておられる。』ラマダーンは我々に精神的および肉体的に強くなることを教える。我慢強さと忍耐力を教える。運動して高い士気を保たせる。イスラームの兄弟姉妹よ。いかなる時であれ常に強くあろう。これが我々のモットーだ。」[投稿動画](#)（4月29日）

（筆者注：カディロフ首長が屋外の運動施設でディップスとベンチプレスのトレーニングをする様子。）

○「ウクライナでのサプライズは続く。我々はジハードの継続を止めない。」（4月19日）

○「イスラーム教徒は常にイスラーム教徒の同胞であり、パスポートや地理的な制限によって私たちは隔てられない。全世界のイスラーム教徒を祝福する。ナチスがマリウポリのトルコのモスクで人質にしていたトルコのイスラーム教徒を解放する特別作戦が成功した。イスラームの団結は我々を強固にし、リーダーシップをイスラーム教徒に取り戻すだろう。」（4月18日）

○「私は、真実を擁護し、NATOと米国による占領への屈服と奴隷制を拒否する世界の全てのイスラーム教徒に最大限の敬意を表する。我々が最善の方法でイスラーム教をウクライナで実践していることを皆に知ってほしい。ナチスに反対する多くのウクライナ人は

我々とナチスとの間の行動と道德の違いに気づきイスラーム教に改宗している。」(4月17日)

○「チェチェンの特別部隊の戦闘員は、最前線でも、ジクル(アッラーの名を繰り返し唱えること)でアッラーへの専心に没頭する。我々は敵を恐れない。何故なら天地を創造したアッラーが我々の側におられる。至高偉大なるアッラーこそが勝利への道を拓く。全ての奮闘努力、断食、服従はアッラーと偉大な勝利のため。」[投稿動画](#) (4月14日)

(筆者注：兵士が車座になり、強く手拍子しながらジクルを唱える様子の動画。)

○「プーチン大統領は、私にラマダーンの期間中は休息するように頼んだ。空腹と喉の渇きがナチスと戦うのに影響を与えると心配したようだ。しかし、私はプーチン大統領に、ラマダーンは征服とジハードの月でありその(来世における)報酬は通常の2倍であることを伝えた。プーチン大統領はイスラーム教の素晴らしさに感動した。むしろ我々イスラーム教徒は断食から精神的な強さを引き出すと伝えた時、プーチン大統領はさらに驚いた。」(4月4日)

○「あらゆる場所のイスラーム共同体へ、ラマダーン月の到来おめでとう。信仰と信条を純化するラマダーン月の到来の機会に、預言者ムハンマドの軍隊に所属する強靱な兵士であるあなた方を祝福する。今日、あなた方は聖典コーランの生徒であり若者である。明日は、祖国とイスラーム教の守り手だ。聖典コーランと預言者ムハンマドの共同体は決して敗北しない。」(4月3日)

○「首都キーウが我々の方にすり寄らないなら、我々の方からサプライズ・ゲストとして赴くまでだ。我々は立ち止まらない。我々はウクライナでの任務を完遂する。11,000人の新しいチェチェン人志願兵がムジャーヒディーン兄弟の戦列に加わりウクライナでの任務を完了する。我々は完全な勝利を達成し、ウクライナをアメリカ人とヨーロッパ人の支配を受けない自由な国にするまで立ち止まらない。」(3月31日)

○「我々はロシアの捕虜に対するナチスのテロリストの犯罪を不問にはしない。犯罪者は処罰する。一方、我々は、真のイスラーム教の教えと我々の模範であるアッラーの使徒ムハンマドの教えに基づき、尊厳と人間性をもって捕虜を処遇し、彼らに全ての個人的および集団的権利を与える。」(3月29日)

○「イスラーム教徒の兄弟姉妹たちよ。世界的な悪に対して闘うロシアをイスラーム世界全体が支持し、イスラーム教徒が多数を占めるどの国もロシアに対する制裁に加わっていないことを私はイスラーム教徒として嬉しく思う。ロシアの3,000万人のイスラーム教徒の名において心からの感謝をあなた方に伝える。あなた方はあなた方が常に正義と公正の側に立つということを証明した。」(3月28日)

○「ルガンスクのイスラーム教徒がラマダーン月を迎える準備をしているのを見ると幸せ

な気分になる。ウクライナ民族主義者の過激派による宗教弾圧から彼らは自由を手に入れた。」(3月26日)

○「チェチェンのムジャーヒディーンは米の傲慢からキエフを解放するためにウクライナに向かう。」[投稿動画](#) (3月13日)

(筆者注: 宗教的な音楽のBGMが流れる中、兵士たちが輸送機の中で両手の手のひら胸前に向けイスラーム教のドゥアー(祈願)をしている様子の動画。)

4. チェチェン共和国ラムザン・カディロフ首長名のテレグラム

(1) 概要

テレグラムのアカウント ([@kadyrovo95_arabic](#))は、チェチェン共和国ラムザン・カディロフ首長の公式アラビア語ツイッター・アカウントを名乗るアカウントのプロフィール欄及び同ツイート投稿内においてカディロフ首長の公式アラビア語テレグラムチャンネルと紹介されており、チャンネル名は「KADYROV NEWS ARABIC」である。画面上でスクロールなどして確認できる限り同チャンネルの作成時期は、ウクライナ侵攻開始後の2022年3月18日、同チャンネルのサブスクライバー数は7,314人(2022年6月15日時点)、最初の配信は2022年3月18日である。ラムザン・カディロフ首長名のロシア語のテレグラムチャンネル ([@ramzan_kadyrov_95_official](#))とは別チャンネルである。ほぼ全ての配信で動画の配信と同時に動画に関する記事を配信している。動画のパターンは、主に①ウクライナで戦闘に従事している部隊が撮影した戦闘、部隊、戦闘エリアの様子、②住民や街並みの様子、③現場の兵士が自撮りで状況を説明する様子、④チェチェン国内と思われる場所での集会、式典、集団礼拝などの様子、⑤カディロフ首長などが登場するプロモーション・ビデオなどである。配信される動画と記事を比較したところ、アラビア語チャンネルで配信される動画及び記事はロシア語チャンネル ([@kadyroov_95](#))と同内容である。ただし、アラビア語チャンネルで配信される動画には「KADYROV NEWS ARABIC」のロゴが画面上に表示される他アラビア語の字幕が挿入されている場合もある。アラビア語が挿入されていない場合でも同時に投稿される記事から動画内容は理解できる配信となっている。両チャンネルの配信開始時期は2022年3月の初旬と中旬でほぼ同じであるが、配信数を(6月15日時点で)比較するとロシア語チャンネルが22枚の写真、425本の動画配信に対し、アラビア語チャンネルは10枚の写真、167本の動画配信でありロシア語配信よりも配信件数は少なくなっている。配信記事の文量は1記事概ね800~1300字程度、動画は数十秒から1~3分程度が大半を占める。記事中では、ツイッターの投稿と同様ウクライナ側をナチス、ファシストやバンデーラの信奉者と呼び、ロシア軍、チェチェン軍、(親口派武装勢力の)「ドネツク人民共和国」及び「ルガンスク人民共和国」の部隊はナチスからの解放のためにウクライナで戦っていると主張し、戦術面では、ウクライナ軍が住民を人間の盾に利用、民間施設を攻撃拠点に利用しているなどと非難している。

(2) イスラーム教の宗教的意義を強調する配信

ツイッターと同様イスラーム教徒へのメッセージを強く意識し、イスラーム教とロシアの軍事進攻の意義を結びつける配信が目立つ。主なものは以下のとおり。

○「アッサラームアライクム。今日我々はチェチェンのモスクで金曜礼拝を行った。我々の兄弟がウクライナにおいて、不信仰の地である西側から生まれた悪魔の宗派に対して現在戦っているようにアッラーの道のために戦う者は天国入りする。このような悪と戦うことは全イスラーム教徒の義務だと金曜礼拝のイマームは説法した。」[投稿動画](#)（5月21日）

○「祖国の危機にはチェチェン共和国が最前線に立つと私（カディロフ）は常に述べてきた。チェチェンの部隊はウクライナの最前線で戦い、カムチャッカからモスクワまでの偉大な祖国ロシアの全国民のモデルになっている。数百名の志願兵がグロズヌイに結集しており、志願兵にはイスラーム教への入信希望者もいる。昨日はチェチェンの大ムフティの前で3名の志願兵が「アッラーの他に神はない、ムハンマドはアッラーの使徒」と証言しイスラーム教に入信した。彼らはバンドーラの信奉者を壊滅させるためウクライナへの出兵を待っている。私は彼らの改宗を心から祝福し、アッラーが彼らの信仰を強固にせしめるよう祈る。我々はアッラーのお助けによって、バンデーラの追従者を壊滅させる。」[投稿動画](#)（4月9日）

○「ロシアは数百万人のイスラーム教徒の権利を尊重し保護している。我々の偉大な国では、宗教的感情を傷つける言動や最愛の預言者たちを侮辱することは法的に禁じられている。ロシアの法律は、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなどの非人間的な宣伝を完全に禁止している。我が国はイスラーム教徒やその他の信徒の権利を擁護している。私（カディロフ）は、イスラーム教徒として、世界的な悪との闘いにおいてイスラーム世界全体がロシアを支援していることを嬉しく思う。120か国を超えるイスラーム教徒が多数を占める国のいずれもロシアに対する制裁には参加していない。そうした国々は、サウジアラビア、トルコ、アラブ首長国連邦、パキスタン、パレスチナ、イラク、シリア、イラン、リビア、インドネシア、ヨルダン、エジプト、カタール、アゼルバイジャン、アルジェリア、アフガニスタン、バングラデシュ、バーレーン、イエメン、ボスニア、ヘルツェゴビナ、ブルネイ、ブルキナファソ、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ジブチ、西サハラ、カザフスタン、カタール、キルギスタン、北キプロス、コモロス、コートジボアール、クウェート、レバノン、モーリタニア、マレーシア、マリ、モルディブ、モロッコ、ニジェール、ナイジェリア、オマーン、セネガル、シエラレバノン、ソマリア、スーダン、タジキスタン、チュニジア、トルクメニスタン、ウズベキスタン、チャドなどだ。ロシアの3,000万人のイスラーム教徒を代表して、心から感謝したい。アッラーがあなた方に報いるよう祈る。今日、あなたがたはイスラーム教徒が常に真実と正義の側に立っていることを改めて証明した。バイデンは人間の外見をしているが中身は悪魔的な政策の遂行者だ。G-7、G-20、G-30などの国々の多くはアメリカのためのブローカーに成り下がっている。私はイスラーム教徒であることを誇りたい。世界のイスラーム教徒が我々の立場に寄り添い、西側に対する明白な姿勢を示していることを誇りに思う。したがって、如何にバイデンと彼のしっぼうがキーウ政権を助けようとしても、ナチス、バンデーラ信奉者や悪魔のにおいさえもウクライナに残ることは決してない。我々はこの戦いに引き込んだナチスたちは彼らの血で体を洗うことになる。正しい天性が受け入

れる原則に基づいて平和が確立されるまで我々は立ち止まらない。我々の最高指導者プーチン大統領は、常に正義の側に立ち、戦争に反対する。プーチン大統領はノーベル平和賞に値する。世界的な悪を体現する西側は間違いなく崩壊する。我々は傲慢な西側の終わりの始まりを目撃している。」（3月27日）

○「アラブの兄弟のフォロワーから以下の意見が我々の元に届いた。『米英がイスラーム教を中傷するために作りあげたISによってイメージが歪められたジハードの本当の精神をあなた方（チェチェン人）が復活させたことが私は何よりも嬉しい。ムジャーヒディーンに感謝する。自由を求める全ての民はあなた方を誇りに思う。住民を人間の盾に利用するようなウクライナのナチスから住民を守るために犠牲を捧げるあなた方（チェチェン人）の姿を見ると目から涙が出る。あなた方は預言者ムハンマドに基づく正しいイスラームの誇りである。イスラームの旗を高く掲げてくれてありがとう』」（3月24日）

○「他の数百万のロシア（連邦の）国民と同様にロシアはチェチェン人にとって祖国である。祖国への奉仕とその権益の保護は我々（ロシア国民）の義務だ。今日、ロシアは最大の危機に直面しているが、プーチン大統領と共に必ず乗り越える。私（カディロフ）はプーチン大統領の兵士であり、アッラーのためのムジャーヒドである。国際テロからチェチェン共和国を解放したチェチェンの兵士は今最も困難な戦いに突入している。しかし、ウクライナのナチスの前進を断固阻止する。バンデーラの信奉者と悪魔話を話す悪魔から人々を救うために数千人の（ロシア軍）兵士がウクライナに向かう中、家で座して過ごすことなどできない。」 [投稿動画](#)（3月22日）

5. 最後に

女性モデルの写真などをプロフィールに設定した複数のツイッター・アカウントからの発信内容はロシア外務省などの他ソースの発表をそのまま機械的に掲載する形が多く、内容にそれほど工夫は見られない。エレナ・デリジオズのインスタグラムの写真のストックを小出しにする形で、女性の魅力を宣伝に利用するありきたりの手法だが、フォロワー数の獲得によって情報の拡散を図る目的は達している。配信内容自体がより工夫されているのはカディロフ首長名のツイッター・アカウントであり、面白おかしい内容、ロシアのイメージ向上、相手を貶める内容から、イスラーム教徒の心を打つことを目指す投稿まで幅広い。

ロシアによるウクライナ侵攻において、イスラーム教徒が多数を占めるロシア連邦の構成国（チェチェン共和国）の部隊が参戦していることをもってして、詳細な法的根拠や要件が必要とされるイスラーム教の「ジハード」が成立すると見なされることはない。しかし、「ジハード」が成立するとは見なされないことをロシアは知っている。だからこそ、「民族主義者の過激派による宗教弾圧からルガンスクのイスラーム教徒の解放による現地でのラマダーンの準備開始」や「マリウポリのモスクでナチスに拘束されていたトルコ人イスラーム教徒を軍事作戦で解放」などのツイートによって（根拠不明ながらも）「抑圧されているイスラーム教徒の解放」の大義を持ち出すことによって議論の余地を捻出しようとしている。これに加え、ウクライナ侵攻を「イスラーム教徒」対「異教徒」、「宗教信仰」対「過激な民族主義」、「西側の傲慢や価値観に対峙するロシア」の構図に見せようとしている。集団

礼拝、ジキル、戦地に向かう機内でのドゥアーの様子動画、ハディースを引用したツイート、演説や氣勢を上げる際のタクビールやロシア人志願兵やウクライナ人のイスラーム教への改宗のストーリーは、上記の構図を補完してみせる。雑多で多種多様な情報の中、個々のイスラーム教徒が自分でウクライナ侵攻の構図や寄り添うべき立場を判断しようとする場合、こうしたイスラーム教徒の同胞心に訴えかけるロシアが発信する情報に影響される人がでてきても不思議ではない。影響を与えられると考えているからこそ、ロシアは手の込んだ情報戦を組織的に展開している。

G-7に代表される西側とアラブやイスラーム諸国ではウクライナ侵攻におけるロシアへの向き合い方が異なる。戦争における情報戦は国際政治や経済に結びつき戦況や当事者間の交渉にも影響する。ロシアの情報戦が当事者でない国々の政策レベルの決定、例えば国連総会などでの投票行動や対ロシア制裁への不参加、にどの程度影響を与えているか不明であるが、個々人に直接情報を届けることが可能な情報発信ツールの発展により情報戦の影響も大きくなっているのではないかと。

ゼレンスキー大統領の自撮り動画の積極的な発信や西側議会での演説などによって「情報戦ではウクライナが圧倒している」との評価⁹がある。一方、ウクライナにはアラビア語での発信の余裕はなさそうだ。ウクライナのムフティのシェイフ・サイード・イスマヒロウは、ロシアによる侵攻は不正義の戦争であり、ウクライナのイスラーム教徒がその信仰の自由を享受するウクライナ国家を守る戦いへの全世界のイスラーム教徒の支持と可能な限りあらゆる種類の支援を呼びかけているが本人からの発信はウクライナ語である¹⁰。ウクライナ領土防衛外国人部隊には「シェイフ・マンスール」大隊や「ジョハル・ドダエフ大隊」などウクライナ側で戦闘に従事しているチェチェン人も存在する¹¹。しかしながら当事者からの発信はなく、また、チェチェン独立派の在外組織の「チェチェン・イチケリア共和国」の発信にもアラビア語での情報発信は見当たらない¹²。ロシアと長年対峙してきたチェチェン独立派にとっては今こそ情報戦に力を入れるべき時であるが、内容の真偽は兎も角、壮大なプロモーション・ビデオなども作成し、イメージ向上に余念のないロシアに忠誠を誓うカディロフ首長側とは質・量とも見劣りしていると言わざるを得ない。

中国、ロシア、北朝鮮に囲まれた日本の安全保障環境を考えた場合、日本が一員となっているいわゆる西側以外の国々の支持獲得と世論への影響を巡って情報戦が繰り広げられことが見込まれる点でウクライナ危機と同様の構図が想定される。情報戦で繰り広げられる内容の妥当性はともかく、（プロモーション・ビデオなどの）質と拡散などの手法による量で凌駕してくる事態に対して政府公式見解を機械的に多言語で発信するだけでは対応にならないだろう。国家安保戦略には攻めと守りの観点から有効な情報戦戦略を考える必要があらう。

⁹ 「情報戦」でウクライナが圧倒的に優勢な理由 | 外交・国際政治 | 東洋経済オンライン | 社会をよくする経済ニュース (toyokeizai.net)

¹⁰ Саид Исмагилов | Facebook

¹¹ <https://global-research-riskmanagement.jp/news/チェチェン人義勇兵部隊/>

¹² ЧЕЧЕН ПРЕСС (thechechenpress.com)